

グローバル・リーダー養成ワークショップ

平成 29年 7月 25日 (火)、グローバル・リーダー養成ワークショップを実施しました。1年生から2年生までの希望者24名が参加し、前半のワークショップではゲームを通じて異文化コミュニケーションの疑似体験をし、後半はネイティブ講師と英語でディスカッションを行い、「日本に住む外国人への差別」をテーマに考えを共有し合い、理解を深めました。

ワークショップ①

異文化コミュニケーション体験ゲーム：

BARNGA

高崎でグローバルなビジネス展開を行っている Spektrum (スペクトラム)から講師をお招きし、言語や文化の違う人々と話す時に想定される戸惑いや、その対処法を自らゲームを通して体験しました。

ルールは「絶対にしゃべってはいけない。」生徒は友達が違うルールの紙をもらってカードゲームをしていると知らずに大困惑。話せないで、目と表情で必死に意見を伝えようとします。



初めての疑似異文化体験に生徒も興味津々。



疑似体験の感想やこれから外国人との交流にどのような工夫ができるか班で話し合い、発表しました。



まとめに、群馬在住の外国人について学びました。新しい知識がいっぱいきましたね。



ワークショップ②

「英語ディスカッション」

群馬県立女子大学外国語教育研究所のご協力で、英文記事をもとに、日本在住の外国人への差別についてのグループディスカッションを行いました。

まずはアイスブレイキングタイム！全員の先生に自分で英語で話しかけます。



テーマは難しかったですが、講師の方々が上手にリードしてくださり、たくさん話をする事ができました。



講師による日本での差別の実体験の話はとても印象に残ったようです。



ディスカッションの中で最も興味深かったことを各班の代表が発表しました。



参加者の感想から

- ◆自分の伝えたいことを完璧に英語で表現するにはまだまだ勉強が足りないけれど、言い換えたりしてなんとか伝えられた時は嬉しいし、改めて英語が好きだと感じられました。また機会があるなら必ず参加したいです。(2年生)
- ◆異文化の場に行ったら自分はどのような反応をするのか客観的に見つめることができ、とても良い経験になった。(1年生)
- ◆「異文化コミュニケーション」という言葉はよく聞くけど、実際に体験したことがなかったのでいい経験ができたと思います。群馬県にもたくさんの外国人がいると知ったし、もっと自分から話しかけてみようと思いました。知らなかったことをより知れて、それを活かそうと思えたとても楽しいワークショップになりました。(2年生)
- ◆常識や自分の考えだけにとらわれるのはよくないのだと分かりました。楽しみながら深い理解ができて、とても良かったです。(2年生)
- ◆もっと語彙力、文法力、表現力をつけ、自分の伝えたいことを自分の言葉で、自分の伝えたい時に伝えられるようになりたいと強く思った。(1年生)
- ◆外国から日本に来た人の悩んでいることや困っていることを題にした内容は自分のためになった。相手のために出来ることやすべきことを考えさせられた。自分の力の足りなさもよく分かったので、これからの学習に役立てられると思う。(1年生)